

男女共同参画意識に関するアンケート結果

1. 目的

第 3 次石狩市男女共同参画計画の進捗状況および男女共同参画に関する市民意識を把握し、本市の男女共同参画推進事業に活用するため実施

2. 対象者の抽出方法

市内に居住する 20 歳以上の男女 1,000 人

- 1 地域別割合：旧石狩市 900 人、厚田区 50 人、浜益区 50 人
- 2 年代別割合：20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以降を概ね均等
- 3 男女別割合：各世代を概ね均等

3. 期間及び方法

期間：平成 30 年 8 月 24 日（金）～9 月 10 日（月）

方法：対象者にアンケート書類一式を郵送、返信用封筒により回収 ※Web 回答も受付

4. 回収状況

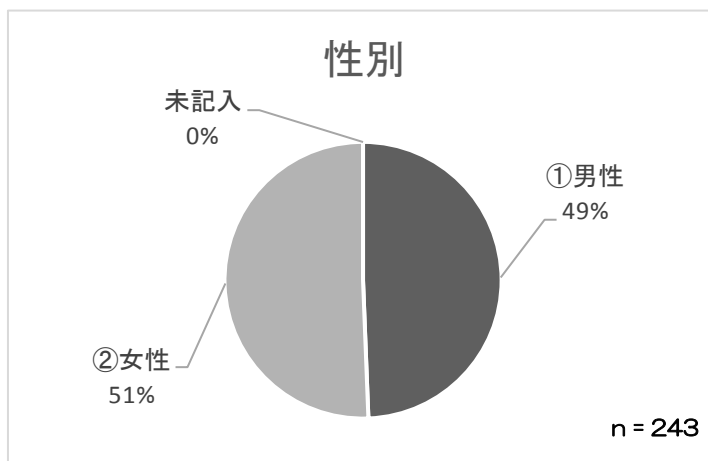
回収件数は 243 件で回収率は 24.3%（H28：180 件 18.0%、H29：228 件 22.8%）

1 性別

男性は 24.0%、女性は 24.6%の回収率となっています。

項目 \ 性別	① 男性	② 女性	③ 未記入	合計
配布数(件)	500	500	—	1,000
回収数(件)	120	123	0	243
回収率(%)	24.0	24.6	—	24.3

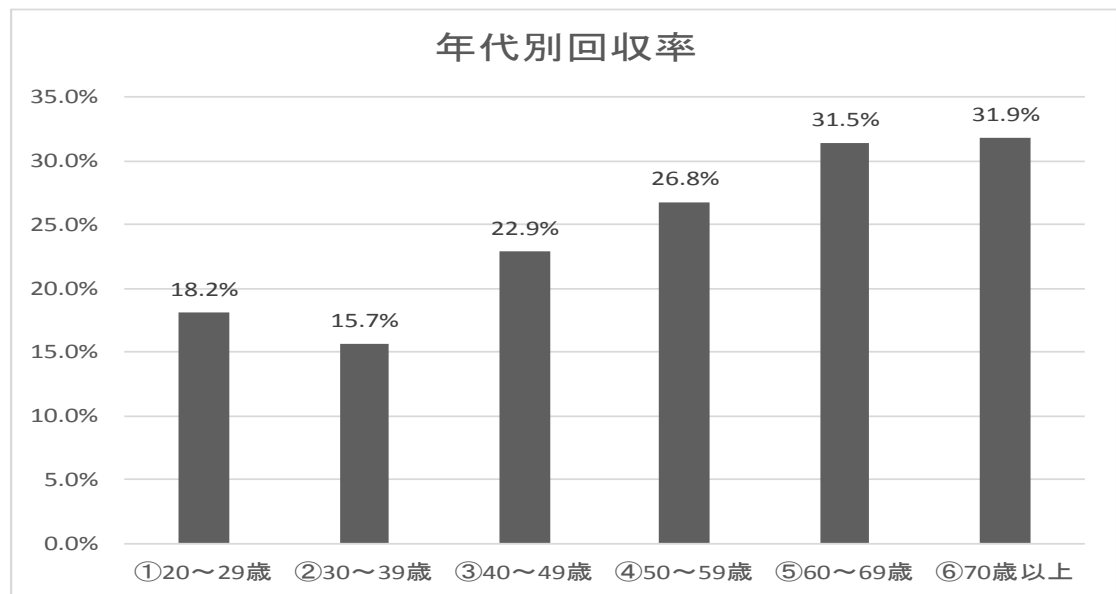
※性的マイノリティ（LGBT）の方に配慮し、性別選択は必須項目としていません



2 年齢

⑤60～69 歳、⑥70 歳以上が 30%以上と高齢の方からの回収率が高い一方で、①20～29 歳が 18.2%、②30～39 歳が 15.7%と若年層の回収率が低くなっています。

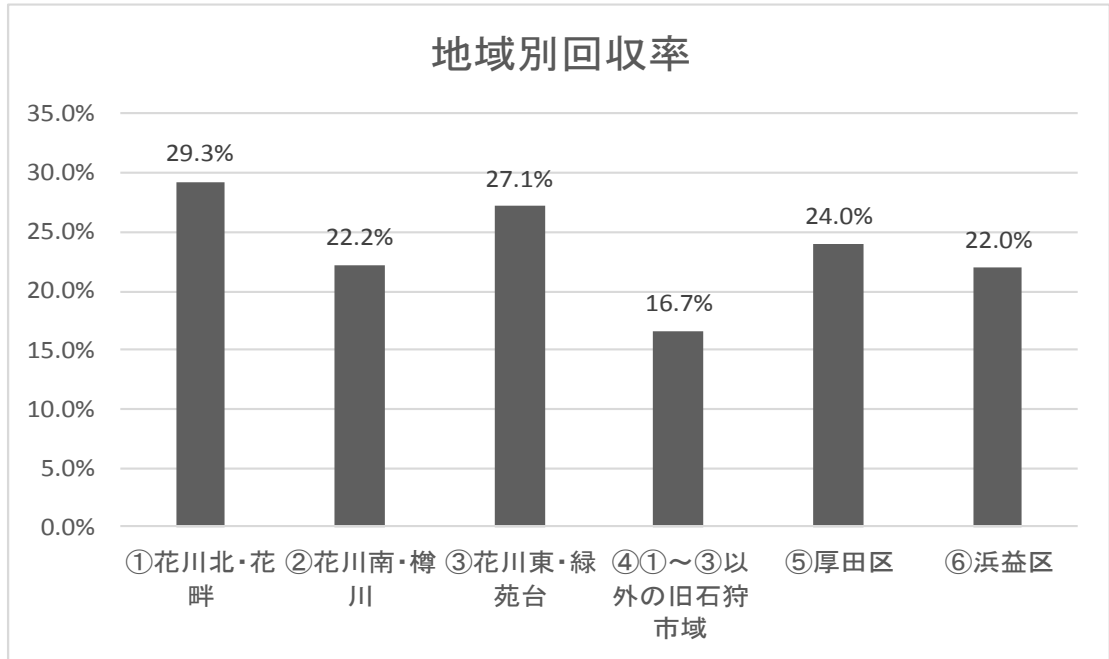
年齢		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
項目		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	未記入	合計
配布数(件)		176	172	166	164	162	160	—	1,000
回収数(件)	男性	15	10	14	18	30	33	0	120
	女性	17	17	24	26	21	18	0	123
	未記入	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	32	27	38	44	51	51	0	243
回収率(%)		18.2	15.7	22.9	26.8	31.5	31.9	—	24.3



3 お住まい

④の①～③以外の旧石狩市域（八幡、親船、生振、緑ヶ原）が 16.7%と低いほかは、20%以上の回収率となっています。

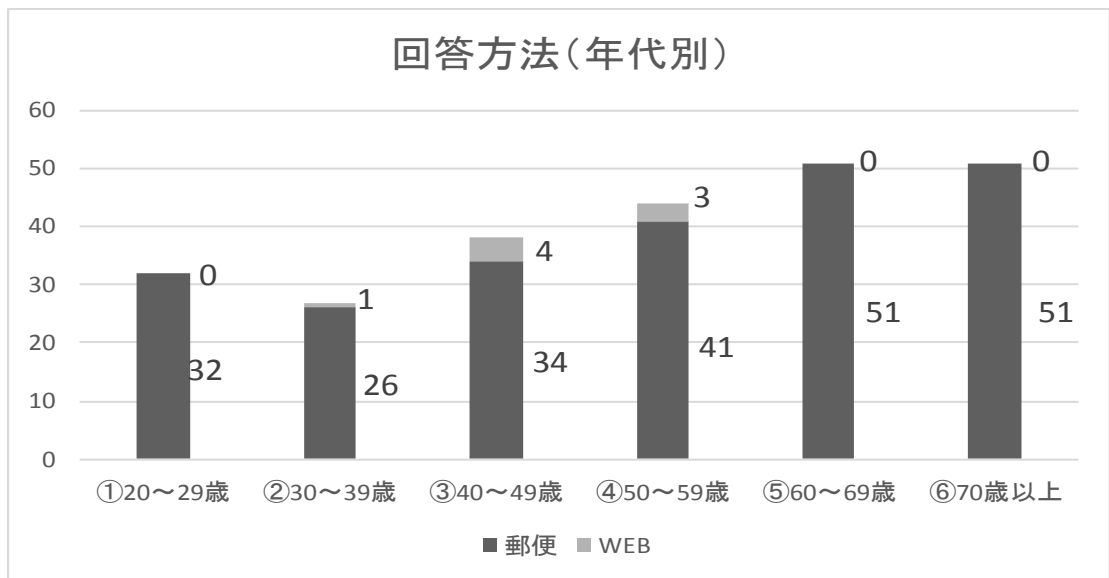
地域		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
項目		花川北・花畔	花川南・樽川	花川東・緑苑台	①～③以外の旧石狩市域	厚田区	浜益区	未記入	合計
配布数(件)		280	490	70	60	50	50	—	1,000
回収数(件)		82	109	19	10	12	11	0	243
回収率(%)		29.3	22.2	27.1	16.7	24.0	22.0	—	24.3



4 回答方法

郵便で回答した人は 235 人、Web で回答した人は 8 人となっています。

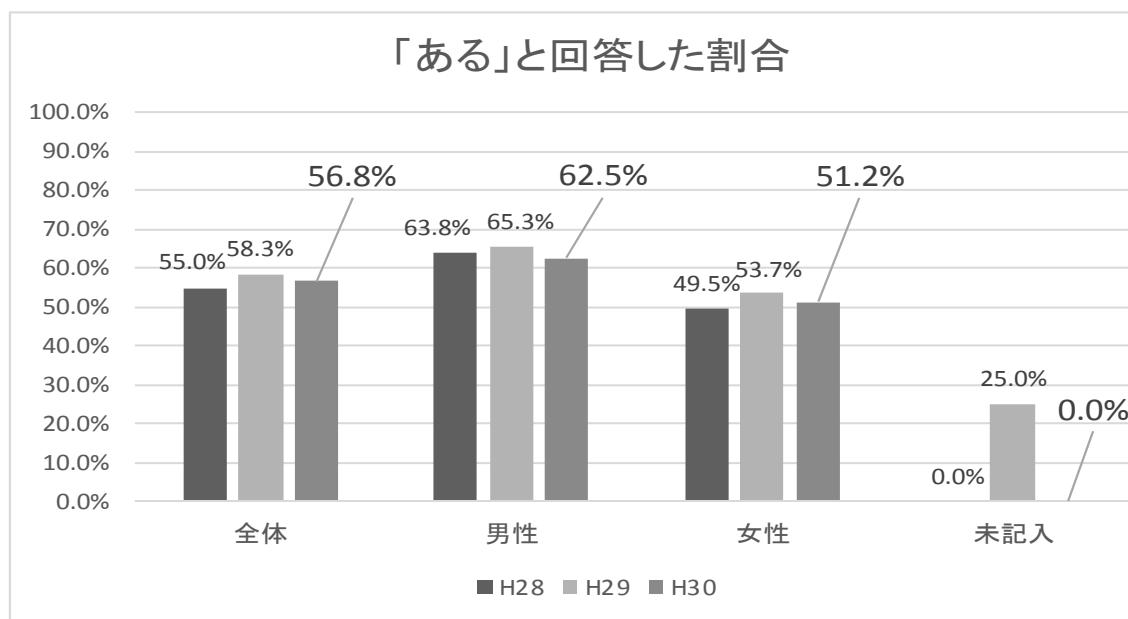
項目 \ 年齢	① 20～29 歳	② 30～39 歳	③ 40～49 歳	④ 50～59 歳	⑤ 60～69 歳	⑥ 70 歳以上	⑦ 未記入	合計
郵便	32	26	34	41	51	51	0	235
Web	0	1	4	3	0	0	0	8
合計	32	27	38	44	51	51	0	243



5. 分析結果

問1：あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を見たり聞いたりしたことはありますか？

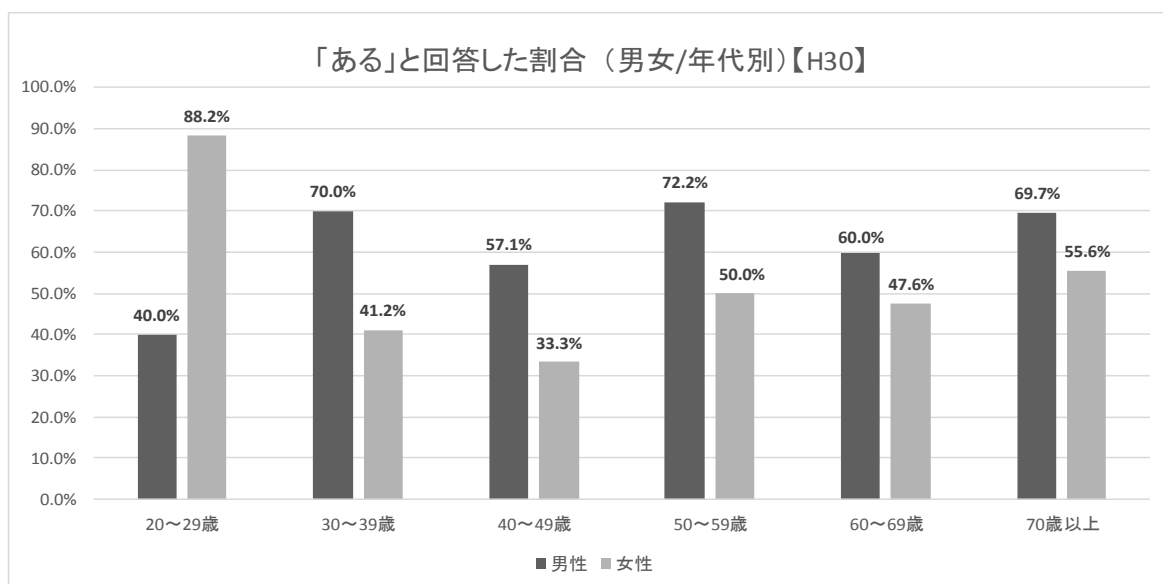
① ある ② ない



・見たり聞いたりしたことが「ある」と回答した人の割合は、平成28年度調査からの3年間とも50%台後半で推移しています。

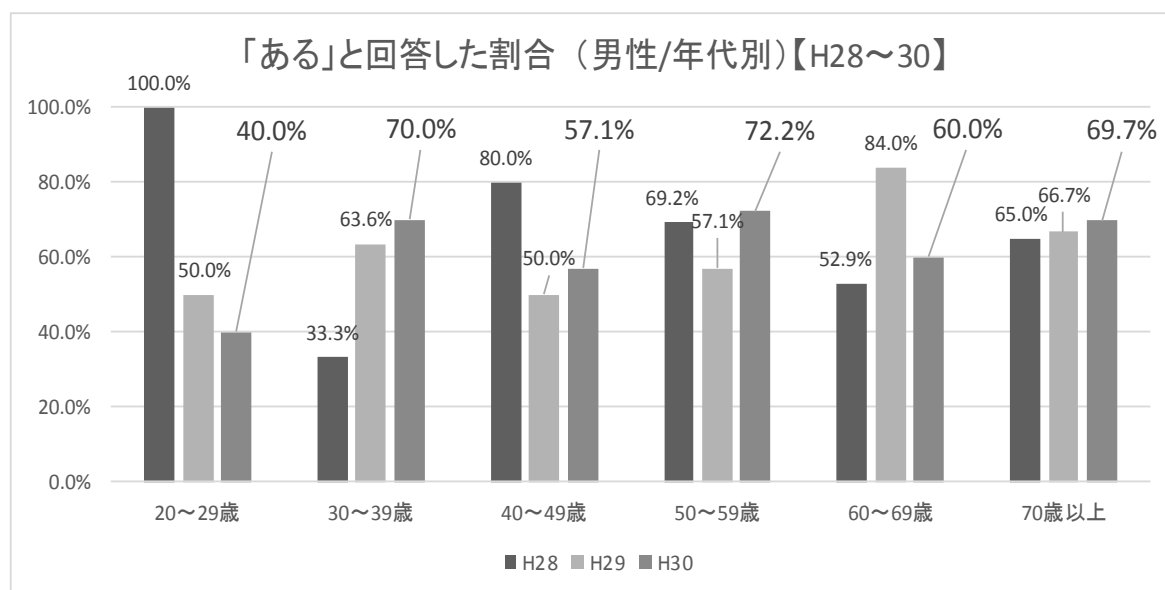
男性の認識している割合が60%以上に対し、女性の認識している割合は50%前後と10%以上の開きが見受けられます。

○「ある」と回答した割合（男女/年代別）【H30】



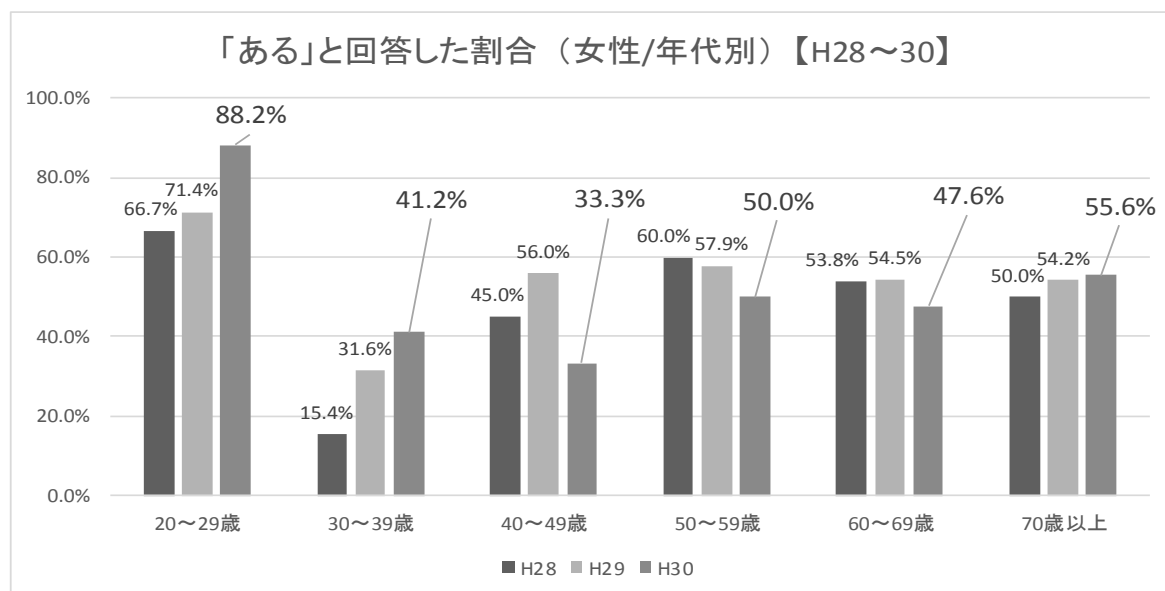
・男性は20～29歳を除く全ての年代で50%以上の方が認識しています。女性は20～29歳が88.2%と高い一方、30～39歳が41.2%、40～49歳が33.3%と低く、それ以降の年代でも50%前後となっていて年代間でばらつきが見られました。

○「ある」と回答した割合（男性/年代別）【H28～30】



- ・20～29歳の認識している割合が若干低くなっていますが、それ以降の年代は調査年度に関係なくほぼ50%以上の方が認識しています。特に70歳以上は認識している割合が毎年度65%以上と高くなっています。

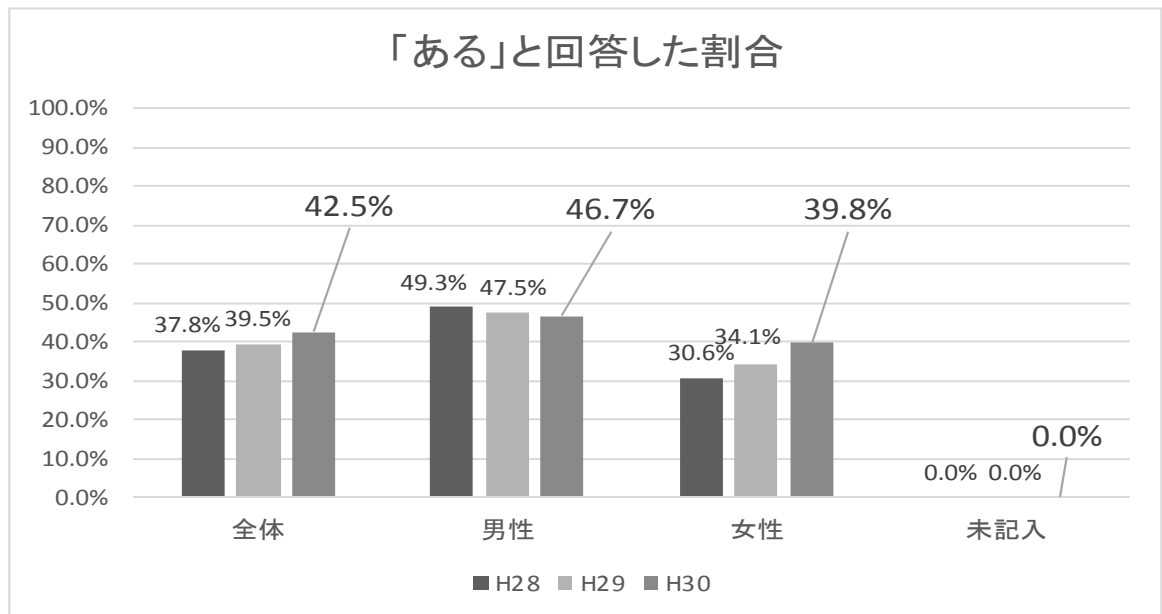
○「ある」と回答した割合（女性/年代別）【H28～30】



- ・20～29歳の認識している割合が60%以上と高く、50～59歳と60～69歳、70歳以上もほぼ50%以上の方が認識しています。一方で、30～39歳は40%台以下、40～49歳は50%台以下と低い結果となりました。

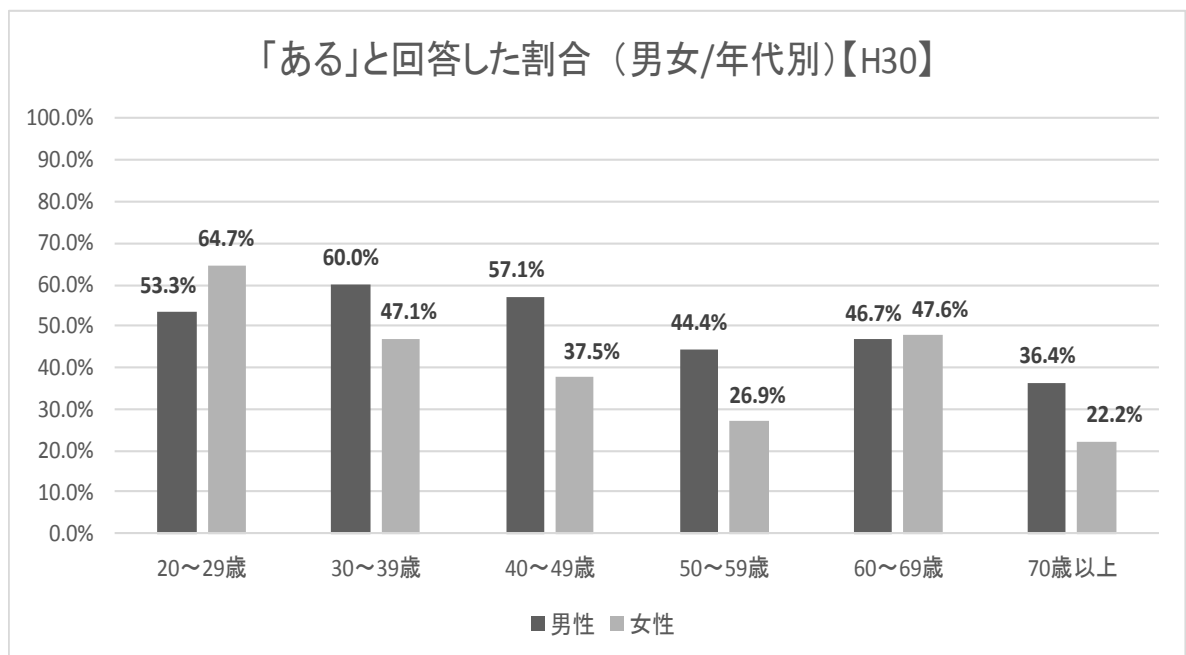
問2：あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を見たり聞いたりしたことはありますか？

① ある ② ない



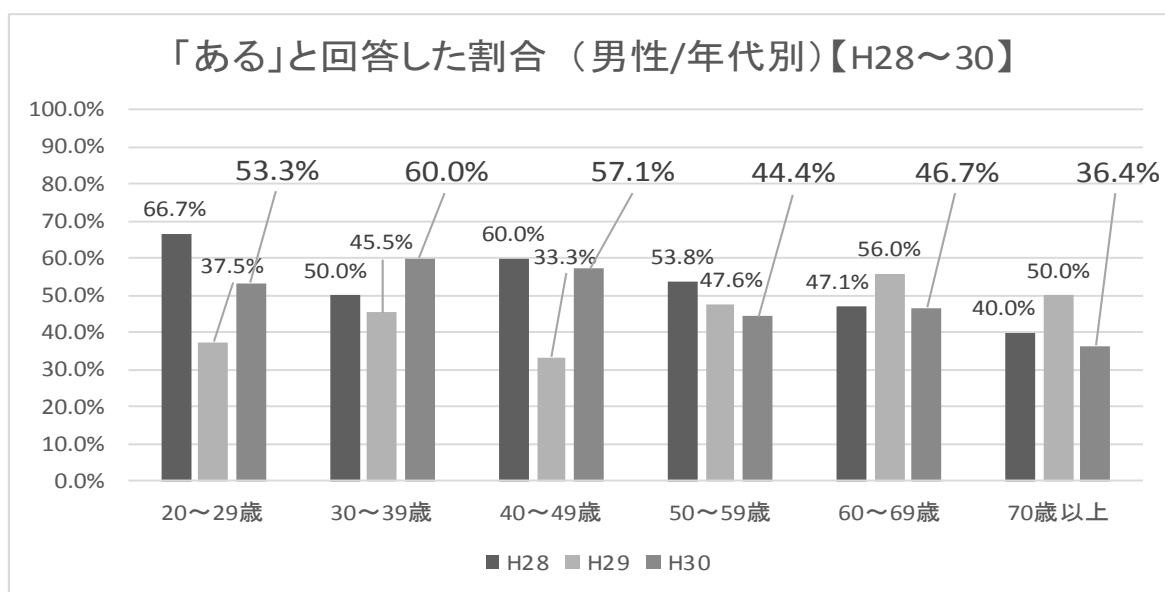
- ・ 見たり聞いたりしたことが「ある」と回答した人の割合は、平成28年度調査からの3年間とも40%前後で推移しています。

男性の認識している割合が微減傾向にあるのに対し、女性の認識している割合は3年間で約10%増加しています。



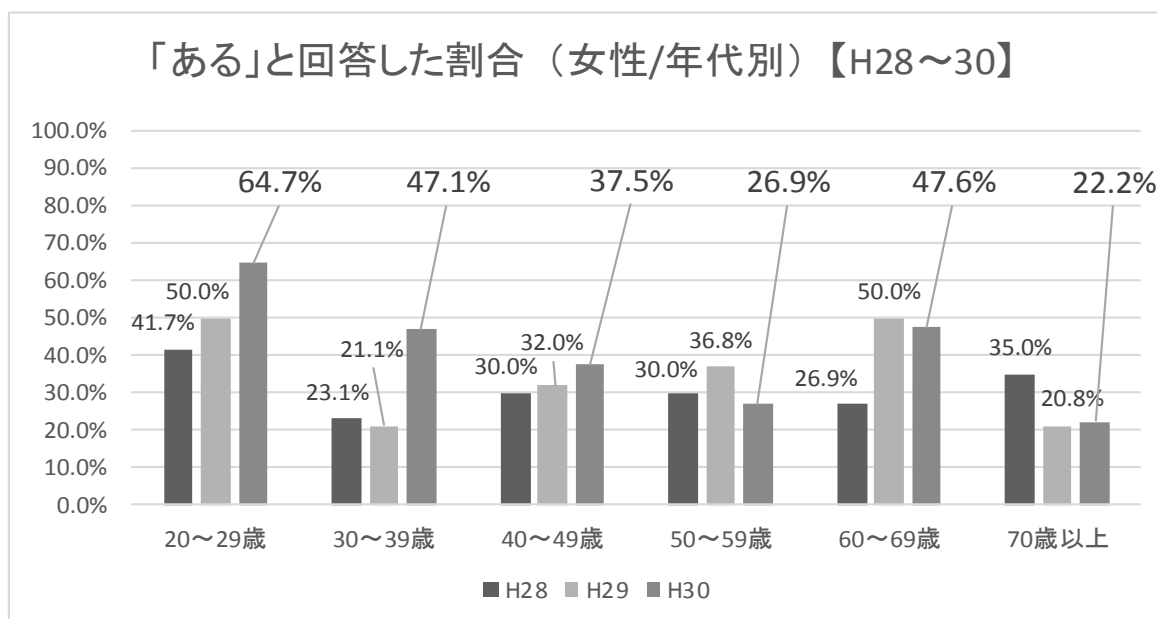
- ・ 男性は20～49歳が50%以上の方が認識している一方、それ以降の年代は40%台以下と低くなっています。女性は20～29歳が64.7%と高い一方、それ以降の年代は40%台以下と低くなっています。男性女性どちらも、年代が上がるにつれ認識している割合が低くなる傾向となっています。

○「ある」と回答した割合（男性/年代別）【H28～30】



- ・どの年代もほぼ50%近くの方が認識しています。また、平均すると年代が上がるにつれ認識している割合が低くなる傾向となっています。

○「ある」と回答した割合（女性/年代別）【H28～30】



- ・20～29歳の認識している割合が一番高く、以降は年代が上がるにつれ減少していますが、60～69歳の認識している割合が増加する傾向となっています。

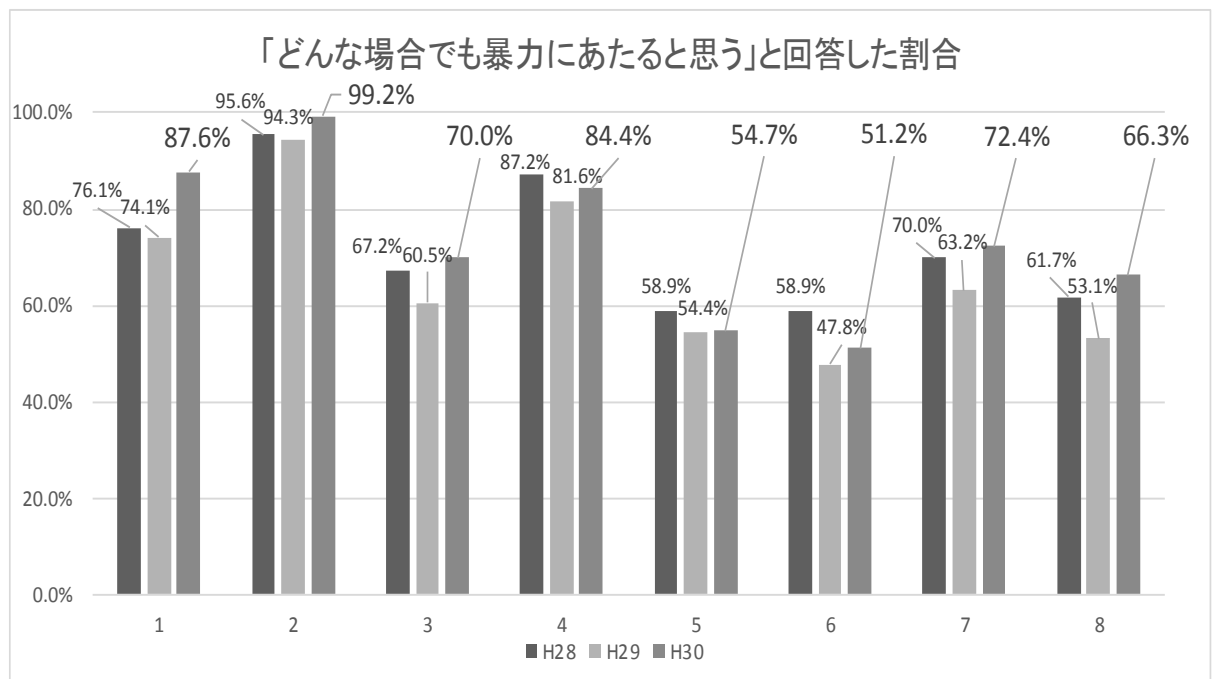
問3：あなたは、次のようなことが夫婦（恋人）間で行われた場合、それを暴力だと思いますか？

項目(1)～(8)について、あなたの考えに近い番号を○で囲んでください。

※「夫婦」には 婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含まれます

- ① どんな場合でも暴力にあたると思う
- ② 暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う
- ③ 暴力にあたるとは思わない

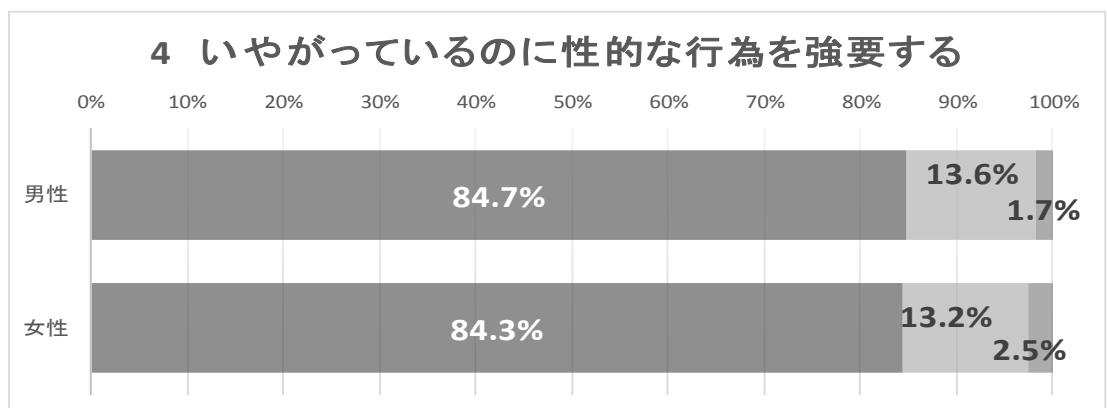
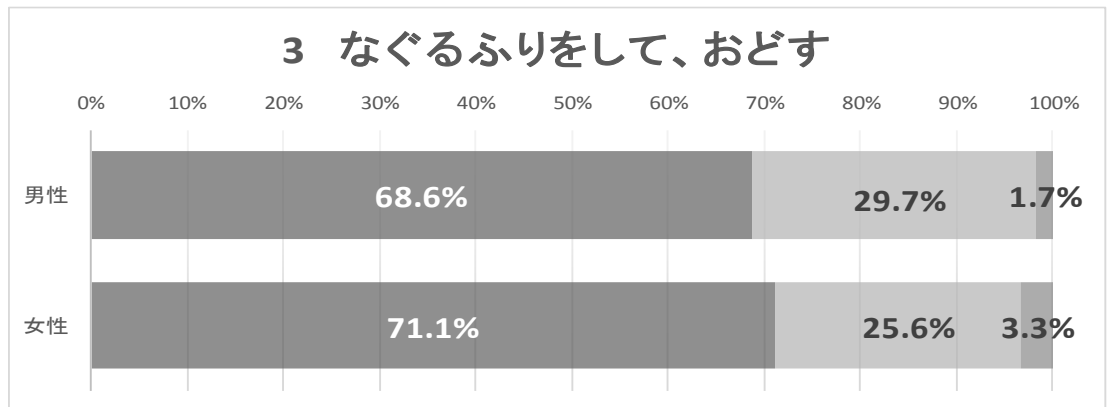
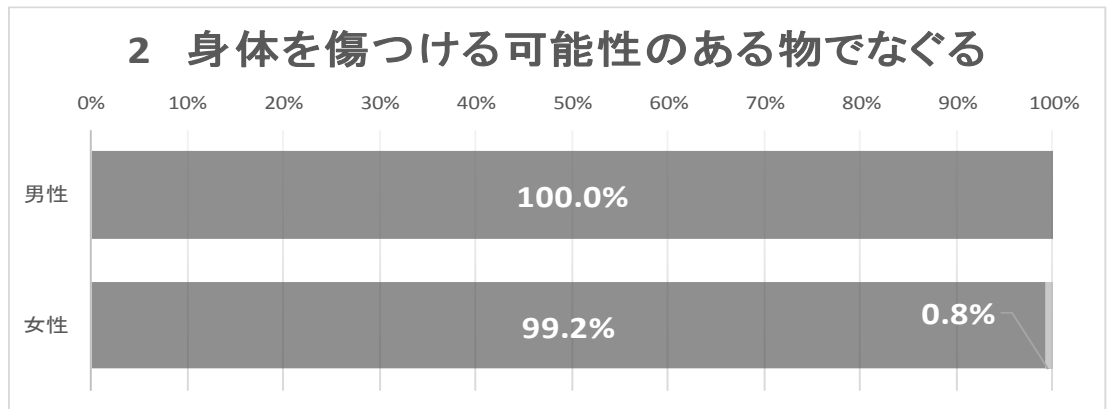
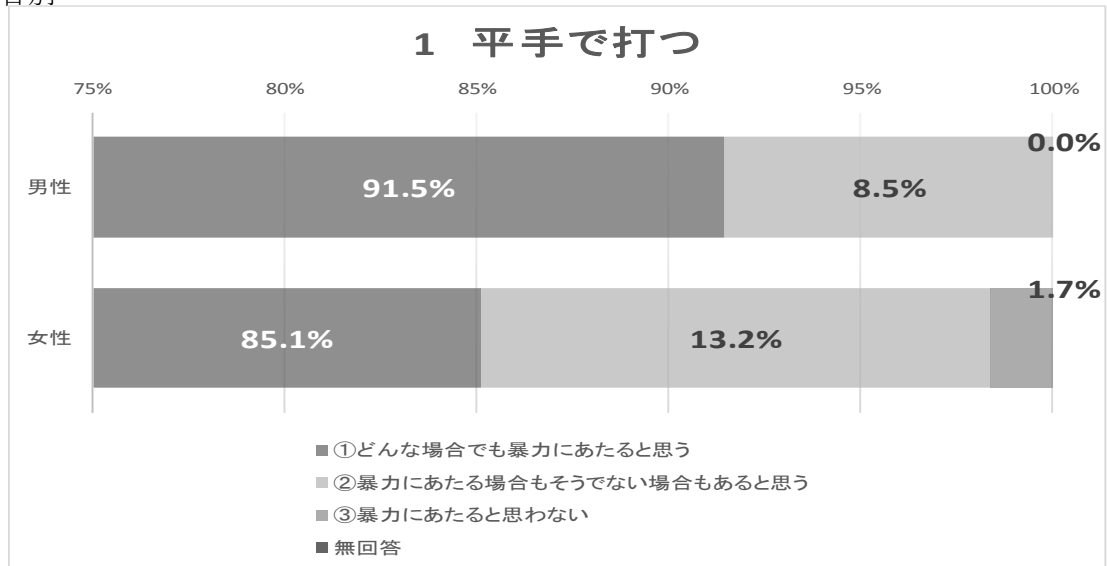
	項 目	番 号
1	平手で打つ	
2	身体を傷つける可能性のある物でなぐる	
3	なぐるふりをして、おどす	
4	いやがっているのに性的な行為を強要する	
5	何を言っても長期間無視し続ける	
6	交友関係や電話を細かく監視する	
7	「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」と言う	
8	大声でどなる	

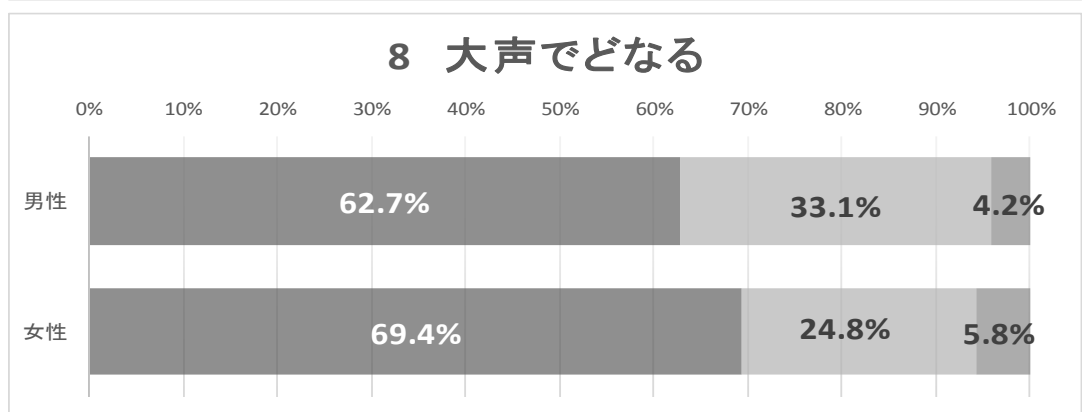
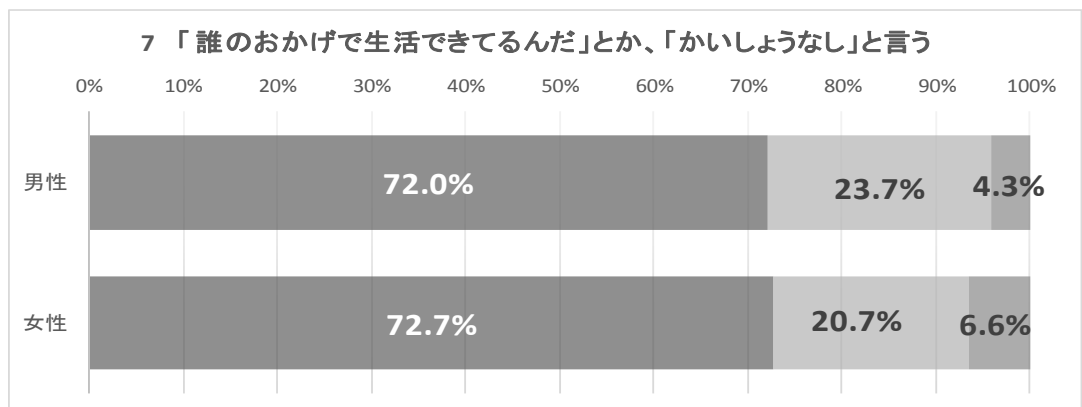
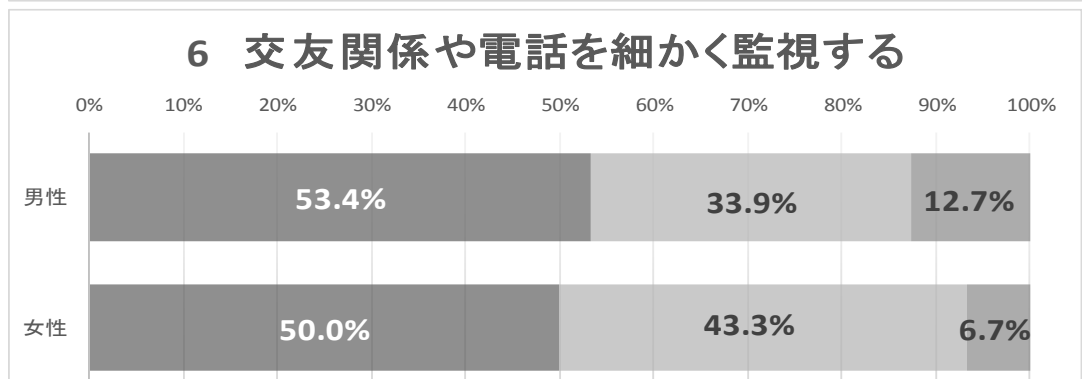
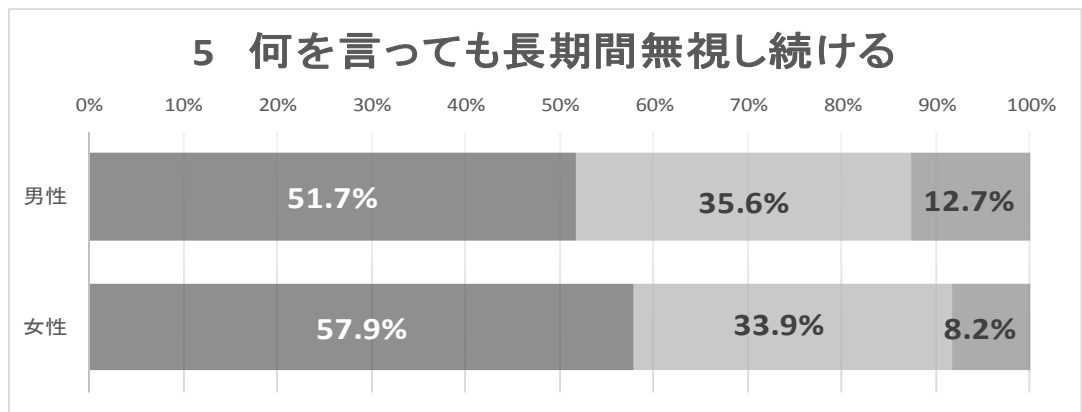


・「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は、ほぼ全ての項目で上昇傾向にあります。

どの年度も1～4の身体的な暴力に比べ、5～8の精神的な暴力について認識している割合が低く、特に「5 何を言っても長期間無視し続ける」、「6 交友関係や電話を細かく監視する」が50%前後となっています。

項目別





- ・「どんな場合でも暴力にあたると思う」男女間の認識の差については、全ての項目で顕著な差はありませんでした。
- また、「5 何を言っても長期間無視し続ける」や「6 交友関係や電話を細かく監視する」、「8 大声でどなる」という行為は「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」と認識している割合が男女ともにほぼ30%以上と高くなっています。

問4：あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現するために、どのようなことを心掛けていますか。（自由記述）

20代女性（11件）

- 子どもの手が離れるまでは仕事は考えていない。少しの時間働きたくても保育料が高い。（0～2才までの）
- 特に意識をしていなかった。
- 趣味を充実させ、仕事のことを考えない時間を作る。時間を有効活用し、やるべき事を早めに終わらせ、好きな事をする時間を作る。
- 国家試験に合格することを重点に、勉強と仕事の両立。合格後のことを考えて、コミュニケーション能力を磨くことのできる仕事を選び、将来を見据えた生活を送るよう心掛けています。
- 仕事が終わったらすぐ家に帰る。住むところと職場を近くした（通勤に時間をかけない）。残業のない仕事を選ぶ。
- 無理せず定時退勤することで、プライベートが充実し仕事へのモチベーションやパフォーマンスが上がった。
- 休日とはほとんど自由に過ごすことでリラックスし、仕事との切り替えをしっかりとっています。
- 性別に関わらず、平等に仕事を行うようにしています。家事も役割分担し、一方に負担がかからないようにしています。しかし、会社ではまだまだ男性の仕事、女性の仕事と分けられていることが多いため、無くしていきたいです。
- 家庭に仕事を持ち帰らないようにする。
- 労働時間とプライベートをしっかりと分離すること。
- プライベートの時間を大切にする。

20代男性（3件）

- 助けあいの精神。
 - わかりません。
 - 大人になること。
-

30代女性（13件）

- 家事は自分だけではなく主人にもできることは行ってもらう。ワーク・ライフ・バランスという言葉は初めて聞いたので特に考えたことはありません。
- 仕事は定時で帰る。趣味に打ち込む。
- 家庭の中で育児や家事だけにとらわれて息苦しくなるので、外に出て気分転換をしたり、子どもが幼稚園に入ったら働きにも出る予定です。
- 安定した収入を得て生活を安定させる事も大事なことだと思う。仕事とプライベートの時間を分けメリハリをとる。
- そりゃあイライラもするし、男でも女でも何かにあたらないとやりきれない日もあると思うけど、そういう時に話を聞いてくれる人がいたら暴力にはならないと思う。

- 思いやりの心が大事。みんな同じ人間だと思う。
- 健康であること（食事に気をつけています）。
- 毎日楽しく過ごすこと！いつもニコニコ明るくいること！人のことを思いやること、感謝すること！
- 今はまだ仕事はしていませんが、子どもがまだ小さいし、地域の協力は必要だと思っているので、地域の協力はできるだけ参加するよう心掛けている。
- 何事も無理をしない。
- 休日、スーパー等で困っている人を見かけた場合は、笑顔で傾聴し解決策と一緒に考える等、地域の方々とチョットした関わりをする事を子ども達に見せることで、コミュニケーション法を学ばせてもらっています。（フルタイムで働いているので平日、日常では難しいので）主人とは生活時間が大幅に違うため、なるべく時間の合う時は、家庭での時間を持つようにしています。その代わりに、休日の家事時間が少なく夜間になってしまうことも多いですが、子どもが小さいうちだと割り切っています。
- 仕事や家事、忙しいことがあっても自分の時間、楽しみ、ごほうび、趣味の時間を作るようにする。周りや、常識や普通と言われることに流されず自分の意思と意見を持つ。
- ワーク・ライフ・バランスを実現するために生活において計画的に行動し効率化を図っています。仕事はできるだけ勤務時間で終わるようにして、趣味や教養を高める時間も持てるよう心掛けています。相乗効果が生まれバランスが良いです。自宅に高齢者もいますので、結果的に気持ちの余裕が持てて、お互い尊重しながら生活できています。

30 代男性（4 件）

- ワーク・ライフ・バランスという言葉を知りませんでした。分からない事を吸収していき、理解を深め行動をしていきたいと思います。
- 自分の職場では子育て世代が多いため、スタッフみんなが仕事と家庭の両立をしやすいようにするためにどうすれば良いか考えながら働いています。職場としての方針がしっかりあること、働く一人ひとりが意識的に考えていくことも大事かと思います。
- 友人を大切にする。好きなマラソンをやる。感謝の気持ちを日頃から持つ。本を読む。平和を祈る。人に親切にする。善行する。歌をうたう。悩みを話すことのできる友を持つ。仕事と遊びのバランス。
- 気にしていない。

40 代女性（12 件）

- 心がける以前に何をしたらいいのかわかりません。
- 残業しない。資格取得の勉強をする。
- 今までそのような差別のある生活を送ったことがないので、深く考えることがありませんでした。ですので、「心掛ける」という発想がありませんでした。家族には常に「心の豊かな人の気持ちを考えられるように」と伝えてはいます。
- 家事・育児・仕事と生活において忙しいときほど少しでも自分の時間をつくり、気持ちを保つよう努めている。

- 無理をしすぎない。家族に助けを求める。でも忙しくてなかなか自分のために良いバランスで生活するというのは、今は正直難しいです。かなり我慢をしています。前向きに楽しく心掛けて毎日こなしています。
- 実現と言っても一人の力では現実問題難しいと思います。なので特に心掛けていることはありません。
- 話し合う、毎日会話をする。
- 地域活動、ボランティアも仕事の支障にならないように行っている。
- 普通の会話を大切にしようと考えているが・・・。
- ワーク・ライフ・バランスが実現できるかどうかは個人の努力ではないと思う。
- 仕事以外でも興味を持ったり、お休みの日は体も心もリフレッシュできるように心がけてはいるけど、なかなか忙しくて実現できてはいない。
- 身体や心が傷つくような暴力はないに越したことはない。ただし、どれもお互いの信頼関係が大前提だと思うので、どんな些細なことでもきちんと話せる関係であれば、こう言った暴力行為にはならないと思う。

40 代男性（1 件）

- 夫婦でスケジュールを共有し、その中で日程調整をしながらお互いの希望を確認し生活していく事を考えていること。仕事、家庭、地域活動などどちらかだけがやるとは決めないこと。

50 代女性（16 件）

- 子どもには、男の子でも家事ができるように自分で何でもできるように教えました。定年になっても働きやすい環境がもっと整うといいのになと思います。
- 私は庭ガーデニングが好きなので、夏はガーデニングを楽しみ、冬（12～3 月）に仕事をし、ガーデニング費用などをガッツリ稼いでいます。
- 夫婦で話し合う事（会社でも）。お互いの距離間を大切に保って自己主張を通さない事。自分を過信しない事。
- これから高齢になっていくので、家事に夫も関わるように少しずつさせています。
- 働く環境の整備の申し入れ（会社に）。
- 自分の身近なパート先で他の人を思いやって働く。一人ひとりの気持ちの持ちようだと思う。その他は、事業所に対して、働きやすいような環境を義務として取り組んでもらうべき。昔働いていた職場では権利は整っていても、上司の意思で子育てしながら働ける環境になかったのです。
- 世代的に女性は育児家事という役割でしたので、基本的に家事育児を優先してきました。これからの人達は、男女関係なく結婚しても仕事をして、家事育児をしていく時代だと思います。
- 保育園を増やす。
- 相手を思いやる気持ちは忘れてはいけないと思う！
- 子育ても終わって、皆自立したのでやっと自分のことを見つめる時間ができた。バランス、なかなかできませんよね。一生の課題だと思います。

- 家庭か仕事かではなく、家庭も仕事もとって優先順位を都度考えています。高1小5の2人の息子には家事も教えています（将来のために）。
- 笑顔、あいさつ、思いやり、怒らないことを心掛けている。
- 言葉の意味が難しいので分からない。
- 仕事、家事、子育て、全て無理しない程度にやるしかないと思っているので、優先順位をつけて生活しています。趣味も充実させながら、何事もほどほどに。
- 夫とよく話すことを心がけています。私は仕事をしていないので、金銭面では夫に頼って生活していますが、家の事は全て私がやっています。結婚してからお互いの役割分担を決めて生活しているので、不満に思うことも少なく、子どもが巣立った今ではそれぞれ好きなことをする余裕もあり、ワーク・ライフ・バランスなどといえる立派なものではありませんが、仲良くやっています。
- 家族のその時々状況に合わせて、仕事をしたり、減らしたり、辞めたり、その他の楽しみも諦めずに続けられるように、無理しない範囲内で行うようにしている。ただし、家庭内では一番柔軟に調整できる立場だから可能であって、なかなか難しいと思う。

50代男性（8件）

- 世の中をよく見ること等。
- 意味が良く分からない。まずワーク・ライフ・バランスという言葉はまだ理解していない。暴力という言葉じゃなく、3以降は犯罪じゃないのか？
- 誰もがという考えは、我が国では（どの国でも、北欧以外で）無理であると思います。老若男女は平等ではありますが適所があります。差もありますね。それを差別と考えるのは、、、そんなに協働とか平等が大事なら、だれも結婚しなけりゃ子も作らなくなる。実際そうなった！人間には差があるのです。適所もあります。それをゴチャゴチャにしたから、、、本当はみんな知っていることだと思うが、、、
- 仕事とプライベートのメリハリを心掛けている（計画的な休暇取得、休日の運動、家族と外出）
- 働きすぎず、休みすぎず、心地よく生活するようにしてる。
- 不規則な仕事から、仕事の合間を使い積極的に趣味に興じたりするなど、気分転換を図っている。ストレスを溜めない工夫をすることで精神衛生面の健全を保ち、仕事の集中力を高めるようにしている。
- 理性を失わないよう心掛ける。
- 現実問題として、現状目の前にある仕事で手一杯でバランスを考えそれに対してのアプローチをすることはできておりません。

60代女性（5件）

- 男女年齢関係なく基本的な生活（調理・掃除・洗濯など）を行える力をつけること。不可能になった場合の他者からの援助を受けるシステムを知っておくこと。
- 相手の気持ちを考えて行動しています。

- 夫婦（男女）仲良くお互い理解し相手のことを思いやり協力することが人生だと思います。
- できるだけ社会参加を心がけ、自分の思いだけでなく現社会の中で、今何が必要なのかを考えていきたく思っています。今までの仕事も社会の中で役立てていきたくと常に考えています。
- 年金生活なので、ふつうの生活ができればよいと思っています。

60 代男性（14 件）

- 自己の能力等をよく考え、他人に大きな迷惑をかけぬよう無理をしないようにする。
- 強いて言えば余暇を大事にしている。
- 夫婦がお互いに譲り合うことが大切であると考えている。
- 相手の事を考え、話し合ったり尊重したりする。
- 会社で推進している有給休暇を取る為の制度を自ら率先している。
- 町内会などの地域活動になるべく参加するようにしています。
- 女房の好きなようにしている。当然相談してもらい、それが正しい行動なのかをお互いに検討している。お互いが全てを自由に行動することは、自由奔放になると思います。それにはお互いにブレーキをかけることも必要だと思います。
- 家庭内の笑い、思いやり、一人ひとりの生活。
- 各活動において、手抜きなしで力を注ぐ。しかし、あくまでも自分の時間を厳守することに心掛けている。
- 朝、必ず「おはよう」と声を掛ける。
- 相手に過度な期待をしないこと。
- 相手に対する思いやりと理解力。
- 自分らしく。
- 現在は無職ですが、健康を取り戻して自分にあった仕事をしたいと思っています。仕事は石狩市内で考えています。

70 代女性（8 件）

- 夫の死を見送って 7 年。この年齢になると自分自身が死の直前まで健康で元気であること。これが誰にも迷惑をかけない最重要の命題だと思っている。
- 愚痴も気にくわないものも笑いと言葉で話にする。口から言葉を発する。
- 仕事面でも生活面でもお互いに思いやり信頼が必要かと思っています。人生 80 年以上生きてきて自身としては経験のない事ばかりですので、アンケートすべて①になりました。
- 男女がともに子育てや介護ができる環境づくり。
- 心にとどめず言葉にする。
- 特別なことは無いです。結婚してから普通に 64 年暮らしてきました。
- 良く話し合うこと。
- 暴力の人間（マザコン）はそっとしておくしかないような気がします。

70 代男性（17 件）

- 自分は余生の身です。世の中が自分の頃とは余りにも変わってしまい、今の現役世代の方々の実情は分かりかねます。ただ、自分の心情は人と接する中では男女の別なく個を尊重する姿勢を重視しています。
 - 物事を冷静に判断するようにしている。
 - この様なことは殆どない。
 - 普段のマスコミ報道から”対女性”を意識させられるが、女性に限らず全ての人々に対することとして考えたい。
 - 日頃の会話を大切にする。
 - 地域の高齢者に声掛けや、家庭でも居心地の良い環境でいれるように心掛けている。
 - 相互理解と慈愛。
 - 高齢者（年金生活者）ですので、W.L.B については、何も行っていない。将来、被介護者になると思いますが、介護サービスを利用するより仕方がないと考えています。
 - 問3がこのアンケートの主要項目と思われますが、ここで得られる集計結果（暴力にあたるかどうかの認識把握）が、参画事業にどのように活用されるのか、極めて不可解です。市費を投じて行う調査としてはおそまつ！
 - 退職後は時間にゆとりができたので、家庭内のことはできるだけ一緒に動いたり（庭仕事など）、手伝いを積極的にする（掃除、風呂掃除、食器洗いなど）ようにしています。
 - 色々な企画立案を行い、複雑な社会に対応できるような組織と取り組みを行ってください。そのことが広範囲の意見を聞き、早期の対策を行えることになるのではと思います。
 - 可能な範囲で町内会の活動に関わる。現在続けているアルバイト的な仕事を体力が許す限りやっていく。
 - その日その時の体調を考慮した無理のない行動。収入（年金）の範囲内での生活。ID などが漏れる恐れのあるオンライン取引の回避。
 - 家庭とかの責任を果たしたうえで、自分のやりがいのある働き方生き方ができる。最近では体が痛くて動けず理想には及ばないです。
 - 年齢的にも地域事業に積極的に参加するよう努力している。
 - 言葉の先行。大企業、公務員の話であって、市民の多くが大げさだが関係ないことと捉えている気がする。
 - 一番に健康であれば自分の出来る活動を心がけて前向きな気持ちで生活を実行していきたいと思っています。
-